

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅴ 緩和ケアの概念		元田 陽子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(10)	教室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	疼痛緩和へのアプローチと生きることへの支援、グリーフケアについて学習する。				
到達目標	緩和ケアを必要とする患者の看護、患者・家族の悲嘆を理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	緩和ケアの歴史、定義、全人的苦痛、チームアプローチ、癌患者の心理過程
2	癌性疼痛の理解、薬物療法、評価方法、看護、日常生活援助方法
3	食べることへの支援、全身倦怠感のケア、不眠の援助
4	存在を支える看護、スピリチュアルケア
5	まとめ、終講試験
履修上の要件	薬理学・栄養学・解剖生理学・基礎看護技術・在宅看護論の知識が必要
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 1 成人看護総論 医学書院 系統看護学講座統合分野 在宅看護論 医学書院 Q&A でよくわかるがん性疼痛ケア 照林社
成績評価の方法	筆記試験
備考	血液、終末期の看護過程と併せて1単位とする。